

～令和6年度、港南区に就任された2人の署長さんを紹介します～



港南消防署長
山口 治彦

今年4月、港南消防署に着任しました。

地域の皆さまには、日ごろから消防署・消防団の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

近年、消防を取り巻く環境は大きく変化しており、国内外で大規模火災や地震、集中豪雨など様々な災害が発生しています。港南区においても、このような災害がいつ、どこで起こるかわかりません。

災害への備えに万全を期すため、これからも港南消防署では火災や救急に迅速かつ的確に対応するとともに、防災イベントや各種訓練会などの機会を通じて、火災予防や防災・減災の普及啓発に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



港南警察署長
徳原 太郎

9月5日付けで、港南警察署長に着任いたしました徳原です。

区民の皆様には、平素から警察行政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私自身、港南警察署は初めてとなりますが、区民の皆様がとても温かく受け入れてくれ、また皆様の生き生きとした姿を見て、本当に来て良かったと感じています。

管内の治安情勢ですが、昨年よりも犯罪発生件数が増加し、特にオートバイ盗や自転車盗が増加しています。また特殊詐欺の発生件数等も増加し、SNS型の投資詐欺やロマンス詐欺といった新たな詐欺も多く発生しています。港南区は、区民の皆様から「住み続けたいまち」として愛されているまちと聞いています。

今後も私たち港南警察署は、皆様が愛するこのまちを守るため、警察官としての使命を全うし、区民の安全安心に貢献していく所存です。

退任された地区連合町内会長より

前 上大岡連合町内会長
木島 勝吉



4年前連長を引き受けた年、新型コロナの大流行と重なり、社会のさまざまな活動が制限され悔いの残る3年間でした。幸い昨年は通常の社会活動が出来る様になり元気で明るい上大岡、の復活を確かめる事ができ、安心して新会長に引き継ぐ事ができました。短い4年間でしたが、各連長はじめ多くの関係者との交流、そして様々な経験が出来たことに感謝すると共に変化の多かった時期に支えて下さった皆さまに厚くお礼申し上げます。

前 日下連合町内会長
市村 喜正



2017年から2024年まで7年間、日下連合町内会長として参加いたしました。この間、区連会、行政など多くの皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。日下地区しか知らない井の中の蛙でしたが、イベント、盆踊り及びおまつり等からそれぞれの地域性があることに気付かされました。連長を退任しましたが、単会の自治会役員として、引き続き自治会活動を続けて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」
港南区社会福祉協議会を「区社協または港南区社協」と記載しています。

編集
後記

■本号では障がい者理解についての意見交換会、災害が起きた際の在宅避難に備えた内容について掲載をしています。ぜひ、ご一読ください。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。■区連会会報担当 官島由美子/田代孝之

■編集委員 筒井英子 (横浜市港南区港南4-2-10 港南区役所地域振興課内) ☎ 847-8391 FAX 842-8193



2024.12.1 発行

ひまわりの声 No.22

題字：高森政雄区連会顧問

～誰にでもやさしく暮らしやすい地域へ～

港南区連合町内会長連絡協議会会長 古屋 文雄

区民の皆さまには、日ごろから自治会町内会、区連会の活動にご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今年には元日に発生した能登半島地震に始まり羽田空港における飛行機火災、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表や台風による風水害など災害に多く見舞われた一年でした。被害に遭われた皆さまにはお見舞い申し上げます。

特に南海トラフ地震が発生した場合、区内でも震度5強の地震が予想されており、より一層防災意識が高まったのではないのでしょうか。

災害直後に自分や家族の身の安全を守ること、生き延びるための備えをしておく「自助」が一番大切です。その上でいざという時に協力し合い、助け合える関係を隣近所と築いておくことが必要となってきます。「共助」には自治会町内会や地域防災拠点をはじめとする地域の力が重要になりますので、日ごろから隣近所の方と顔の見える関係をつくっていきましょう。

地域では昨年引き続きイベントが再開されるなど、ますます活気と賑わいが戻ってきました。コロナ禍を経て社会生活が変化している中で、地域の皆さまが顔を合わせて活動していけることを嬉しく思います。港南区では新たな施策として「子育てにやさしいまちづくり」を目指し、子育て世代と地域との接点が増えるように取り組んでいます。子育て世代は勿論のこと、高齢者や若年者、支援が必要な方など色々な人が互いに支え合っていくことでより良い地域になります。そのためには、一人ひとりが自分の役割を考えて行動していく必要があります。

身近なところから少しずつ地域との繋がりをもち、一緒に暮らしやすいまちを築いていきましょう。引き続き、区民の皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新任された地区連合町内会長より

～令和6年度、地区連合町内会長になられたお2人です～



上大岡連合町内会長
荻久保 源司

上大岡連合町内会は約4,400世帯が加入しています。京浜急行線を境に上大岡東西に区分されています。東地区は傾斜地が多く高低差もあり土砂災害警戒箇所を住民の皆様には周知し防災意識を高めてもらいます。西地区は平坦地で過去に、大岡川が何度も氾濫し浸水被害を受けています。その後根岸湾へトンネル分水路ができてからはほとんどなくなりました。災害のない安心安全な住みよい町をめざします。

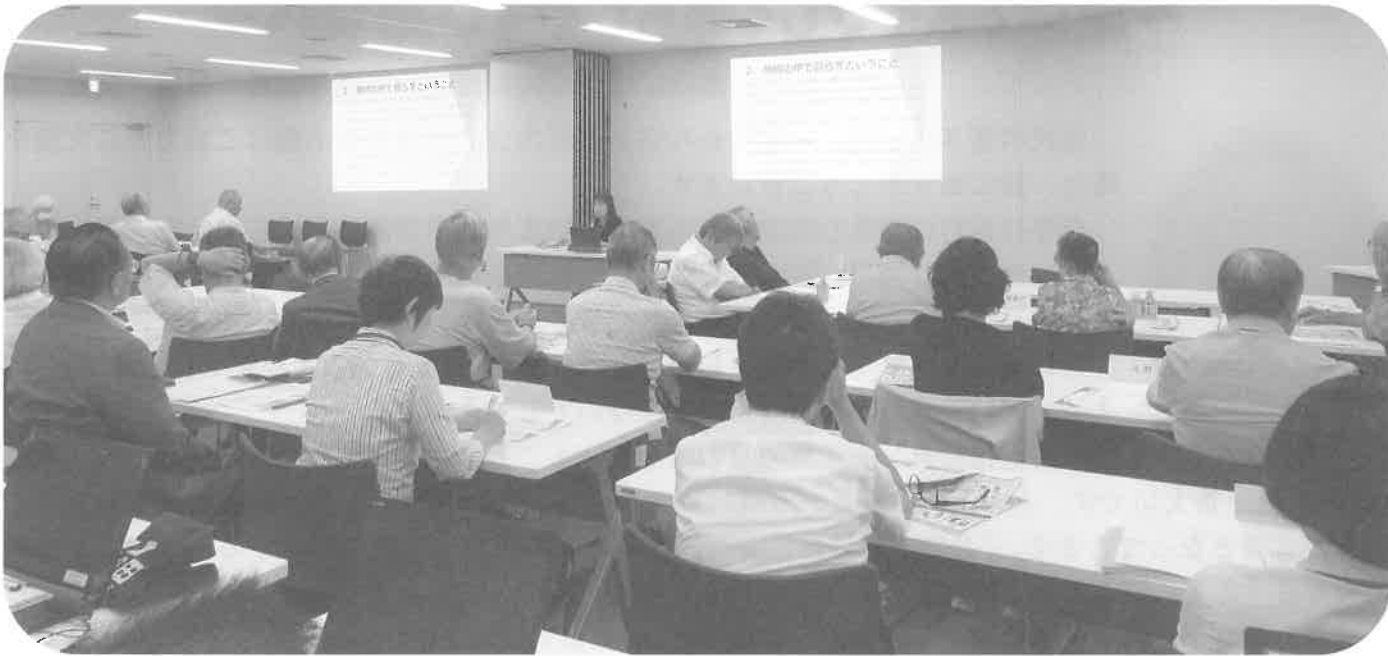


日下連合町内会長
田口 久美子

日下連合町内会は今年度より1自治会が仲間に加わり9自治会町内会約4,120世帯で構成されています。昨今は、生活の多様化による社会の変化に伴い、自治会町内会の役割も変化してきております。少子高齢化がますます進む中で、災害対策、防犯、子どもの健全育成など、地域には様々な課題がありますが、みんなで協力して良い地域づくりをできるように努力してまいります。

お互いを知ること暮らしやすい地域へ ～区連会・区社協合同意見交換会～

令和6年8月20日、港南区連会・港南区社協、行政職員等が参加し「区連会・区社協合同意見交換会」が開催されました。「障がい者理解～障がいがある方の地域での暮らし～」と題し、港南区障害者団体連絡会会長の早坂氏による講演後、グループに分かれて意見交換を行いました。



～講演を踏まえた意見交換～

5つのグループに分かれ、それぞれの地区で障がいがある方の地域での現状や取組等について話し合いを行いました。



- ・夏祭りではお店を設けてもらったり、地域の防災訓練に参加してもらっている。行事やお祭りなどに関わってもらおうと話す機会も増え、町内会の人たちとコミュニケーションが図れるのではないかな。
- ・年に1回の清掃や、高齢の方の代わりに回覧板を回す事をお仕事としてお願いしている。また、各町内会・自治会で食事会を行う際はお弁当などを施設にお願いしているが、配達してくれる方も障がいのある方なので馴染みになった。
- ・障がいの種類によっても支え方が変わってくる。接し方について、もっと知ることができるように地域の皆で勉強して、障がいのある方が地域に出られるような環境を整えられれば良いと思う。
- ・大人になってから理解を進めようとしても難しい面があるので、小さい頃から障がいのある方と接する機会が必要なのではないかな。
- ・今回のような「障がい者理解」という意見交換会の必要がないことが本来は望ましい。障がい者、健常者といった区別がなく、特別な感情を持たず様々な個性がある中で生活をしている世界が良い。そのためには、お互いを知る必要がある。
- ・今はプライバシーの問題があり、なかなか状況を聞きにくいこともある。プライバシーも大事であるが、状況を把握できる人を増やすことで協力できることも増えると思う。

～障がいがあっても多くの人と心通わすことで心豊かに暮らせる社会に～

- ・福祉サービスは充実してきたが、家族の精神的負担は今も昔も変わらず、障がいのある子の手を引いて地域の中に入ることは勇気がある。
- ・障がいがあることを異質なものではなく一つの個性としてとらえ、その人がその人らしく地域の中で心豊かに暮らせる社会でありたい。
- ・障がいがある方はいつも助けられる立場ではなく得意なことがあり、助けることやお手伝いできることがあることを、皆に知ってもらうことが大切。

そのためには障がい当事者や家族も勇気をもって地域の中に出ていきご近所と付き合っていくこと。そして、地域の人には特別なことは必要なくそれを見守っていくことが必要。



港南区障害者団体連絡会
早坂会長



～災害に備えてご家庭で備蓄品の準備をしていますか～

災害直後は必要な物品を購入することもできず、またすぐには支援も届きません。飲料水、クラッカー・缶詰などの食料品、トイレパックなどの備蓄品は最低3日分（できれば7日分）の備蓄品を備えておきましょう。

地域防災拠点に備蓄している水、食料は、自宅等が倒壊、火災等により発災時に家庭内備蓄食料を持ち出せない方のための最低限の備蓄品です。そのため、各家庭で必要な備蓄をしておかなければなりません。また、地域防災拠点は自宅で過ごせない人が避難する場所です。自宅での生活が可能であれば、ストレスの少ない住み慣れた家で在宅避難できるよう準備を進めていきましょう。



「元気な地域づくりフォーラム」開催のお知らせ

日時：令和7年3月8日（土）
13：30～15：30（予定）
場所：港南公会堂 ホール
内容：「みんなで地域づくり～立場や世代を超えて～」をテーマに、自治会町内会など地域の取組発表他。
皆様のご参加をお待ちしています。
問合せ：地域振興課地域力推進担当
☎847-8383



古屋区連会会長



荻久保区社協会長



高森顧問



栗原区長